

平成30年3月吉日
駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校
校長 梶田 和明

平成30年度に向けた改善方策

1 「生徒・保護者・地域の方々からの高い評価の継続」について

- (1) 授業スタンダードとともに生活指導スタンダードを全校体制で組織的に共通実践して、授業の充実の基盤となる生活指導の安定をめざす。
- (2) 人権尊重教育推進校として培ってきた「多様性を肯定的に捉える意欲や態度」「違いを認めて受容し、協力して取り組む技能」を育成する指導を各教科や道徳・総合的な学習の時間・学活で継続的に実践する。
- (3) 生徒の自己肯定感を高め、社会に貢献しようとする生徒を育成して、保護者と地域から信頼される学校づくりを推進する。

2 「保護者・地域のアンケート回収率を高める工夫」について

- (1) 学校だより、学年だより、学校運営委員会だよりを定期的に発行し、学校の教育活動の取り組みを積極的に紹介する。
- (2) 学校ホームページの更新をこれまで通り毎日行い、リアルタイムで学校の様子を伝えられるようにする。
- (3) アンケート実施の周知期間を早い時期から設定して、学校だよりや学校ホームページの記事で学校関係者評価アンケートを取り上げる機会を増やす。

3 「広報宣伝活動を充実させ、わからないという回答を減らす努力」について

- (1) 学校だより、学校運営委員会だよりを各町会の回覧板に載せて、地域社会に学校の様子を紹介する機会を増やす。
- (2) アンケート配布時に教育活動の取り組みを紹介する補助資料を作成し、配布する。
- (3) 土曜授業日の授業参観実施や百人一首大会などの行事を実施して学校公開の充実に努め、保護者が学校に訪れたい機会を多く設定する。そして、行事実施後のアンケート調査結果をホームページや学校だよりで紹介する。